

平成23年度 第7回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成24年3月22日（金）15：00～17：00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 9名（欠席2名）
事務局 館長、館長補佐、管理係長、分館主査 10名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成23年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・・・・・資料1
(2) 仲町公民館・仲町図書館改築に伴う実施設計について（概要）資料2
(3) 平成23年度第6回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・資料3
(4) 上水南公民館『友の会ニュース』第118号・・・・・・・・資料4
(5) 平成22年度・23年度小平市公民館運営審議会提言書・・・・資料5
(6) 平成24年度小平市公民館事業計画（案）・・・・・・・・資料6
- 6 次第 (1) 開会
(2) 配布資料の確認
(3) 館長報告
(4) 提言について（資料5）
(5) 東京都公民館連絡協議会委員部会第3回研修会について
(6) 公民館定期講座実施状況、公民館まつり・学習成果発表展について
(資料1)
(7) 平成24年度公民館事業計画（案）について（資料6）
(8) 仲町公民館・図書館建替えについて（資料2）
(9) 次期公民館運営審議会委員の選定について
(10) その他
(11) 閉会

会議の概要

1 開会

2 配布資料の確認

3 館長報告

- (1) 市議会 3 月定例会 一般質問について
公民館に関連する一般質問について報告した。
- (2) 平成 24 年度予算特別委員会について
平成 24 年度予算案は可決すべきものと決定したことを報告した。
- (3) 市議会常任委員会 生活文教委員会について
『小平市立公民館条例の一部を改正する条例』が可決すべきものと決定したことを報告した。

4 提言について

公民館運営審議会より中央公民館長に提言書が提出された。

提言書『小平市公民館のこれからに向けて

～災害時の公民館の対応と新しい仲町公民館の運営について～』（資料 5）

〈主な内容〉

- ・災害発生時に公民館に期待される役割をより良く果たすために
- ・仲町公民館・仲町図書館 複合施設の管理運営について
- ・さらに公民館を活性化するために

5 東京都公民館連絡協議会委員部会第 3 回研修会について

委員より報告。

福生市の元公民館長より、公民館が地域に密接に関わることの重要性と他市の事業評価等についての講演があった。

(主な意見等)

委員 少子高齢社会において、公民館が役割を果たすためには、地域の住民がどのような生活をしているのかをよく知るべきだと感じた。市民にとって、学習の場ではあるが、敷居の高い公民館ではいけないのではないか。

6 公民館定期講座実施状況、公民館まつり・学習成果発表展について
事務局より報告（資料 1）。

今年度は、東日本大震災を受け、地域防災に関する講座を実施し、公民館まつりでは、被災地に心を寄せようというテーマで、一貫して防災体験や義援金の募金等を行った。さらに、新たな取り組みとしては、受講生自らが意識を高める参加型の講座に積極的に取り組んだ。来年度以降も、地域の活動につながっていくような講座運営を工夫していきたい。

（主な意見等）

委員 八館会まつりから小平市公民館まつりになったので、まつりについては、全館で協力した方がよいのではないか。公民館の職員ともさらに連携を図っていきたい。

委員 公民館まつりについて、被災地に心を寄せようというテーマで取り組んだことは非常によかった。来年度以降も、公民館が地域のよりどころの一つだと感じてもらえるような取り組みを続けてほしい。学習成果発表展と合同にする等、やり方を工夫し、さらに多くの人に参加するまつりにしてほしい。

事務局 今年度は、東日本大震災を受けて、防災体験や募金を行ったことで、利用サークルの内輪のまつりから地域のまつりへと前進した。今後も震災関係の取り組みや支援を続け、公民館まつりを通して地域交流に取り組みたい。

委員 市民学習奨励学級は、団体と職員との連携をもっとうまくしてほしいとの声があった。

事務局 確認し、改善すべきところは改善する。

委員 市政 50 周年に関連した事業も、どこかで実施してほしい。

- 7 平成 24 年度公民館事業計画（案）について
事務局より説明（資料 6）。

講座等の実施予定、視聴覚ライブラリーへの DVD の追加、施設の改修予定、AED、ベビーシート等の設備の拡充等について報告した。

- 8 仲町公民館・図書館建替えについて
事務局より説明（資料 2）。

基本設計のコンセプト、実施設計の概要等について報告した。

- 9 次期公民館運営審議会委員の選定について
事務局より説明。

現在の進捗状況について報告した。

10 その他

（主な意見等）

- 委員 委員に就任した当初は批判の目で見えていたが、今や公民館の今後の発展を大いに期待できると感じている。地域の人と話し合い、市民から頼りにされる公民館であるために頑張ってもらいたい。
- 委員 公民館の置かれている状況は厳しいが、厳しい状況だからこそ頑張ってもらいたい。パソコン講座は、趣味的なものに、就労支援や災害時の安否確認等に活用できるものをプラスし、公民館が市民のつながりを広げる役割を担うことを期待する。
- 委員 シルバー大学の受講生に小中学校の支援に来てほしい。講座から発展して、大人の知恵が子どもたちに伝わるような形になることを期待している。
- 委員 公民館で子どもから高齢者まで、さまざまな人が学ぶことがあってはじめて、安全、安心、活力のあるまちづくりが実現できるのではないかと。11 館もの公民館があることは、小平市の特徴の一つなので、今後も引き続き、各館で多方面にわたる事業を展開してほしい。

委員 委員を務めたことで、市民の一員、大人の一員であることを自覚した。コミュニティの土台を大切に、今後も公民館活動を続けたい。また、公民館職員向けの研修も多くあるので、そのような機会を活かしてほしい。分館2館の代表が1人の委員では、不十分だと感じたので、今後検討してほしい。

事務局 今回の条例改正で、地域の自主性と自立性を高めるためという目標において、公民館運営審議会委員の委嘱について改めて定められたことは評価すべきだと考えている。今後の公民館の発展を想定し、厳しい状況においても、定数は現状を維持した。今後、地域社会で必要とされる人材を公民館運営審議会に登用できることを期待している。

11 閉会